

## 1 情勢報告

## 集落営農リーダー研修会



研修会

須崎農業振興センターでは、集落営農組織のリーダーや関係機関を対象に、組織活動の充実やステップアップを図るため、集落リーダー研修会を開催してきました。3月7日には第4回目として、集落営農組織「ふぁ～夢宗呂川」、中国四国農政局高知地域センターを招き、国の制度を活用した収益向上への取組についての研修会を行いました。

研修では、集落営農組織活動を通じ具体的な制度活用事例の紹介に続いて「ふぁ～夢宗呂川」講師が話された「組織の目標は収益の向上だが、目的はふるさとをどうやって守るかであり、目標と目的は同じでない。」の言葉に参加者は賛同していた。

今後も、振興センターでは集落営農組織の設立や組織活動の充実のために、研修会を通じ集落リーダーの育成を行っていきます。

## 直販所の野菜安定供給のための加工方法の研修



研修会

津野町では農家の所得の向上のために地域アクションプランで直販所やアンテナショップの充実を進めています。しかし、販売所の整備は進んだものの供給される野菜の不足が課題になっています。野菜の供給においては欠品をなくすように作付けを拡大すると一方でピーク時の売れ残りが出ることが問題になります。

そこで須崎農業振興センターは地域支援企画員と連携して、野菜の加工の全国的な専門家を招き、過剰な野菜の一次加工の技術と、そこから商品作りにつなげる手法の研修会を3月11日に開催しました。研修には直販所スタッフが参加し、質問や相談等熱心に受講しました。

振興センターは、今後も地域内の直販所へのサポートを続けていきます。

## JA土佐くろしおミョウガ部会現地検討会が開催されています。

土耕栽培グループでの  
現地検討会

ミョウガ部会の現地検討会を1月から引き続き開催しています。3月5日に須崎市中氏地区と池ノ内地区、3月8日に中土佐町上ノ加江地区、3月12日に土耕栽培グループ対象として計4か所で開催し、延べ79名の生産者が参加しました。

テーマは、温度湿度などハウス内の環境制御法や、給液・かん水管理について、具体的な調査データをもとに参加者と検討しました。実際の管理状況について、生産者からも各自のやり方や考え方について発言が相次ぎ、生産者同士でも議論がなされるなど、環境制御や水管理について生産者の関心が高まってきたように感じます。今後も継続テーマとし、今後は、より具体的な管理方法を示し、基本管理技術の見直しを図っていきたいと考えています。